

2022年(令和4年)11月2日 水曜日

岐 阜 新 聞

飛騨市 杉玉、新酒告げる 渡辺酒造店で掛け替え



新しい杉玉を掲げる蔵人ら
＝飛騨市古川町、渡辺酒造店

新酒の出来上がりを告げる「杉玉」の掛け替えが1日、飛騨市古川町壱之町の渡辺酒造店であり、店先の軒下で作業を進めた蔵人らと見物客が新酒の上々の仕上がり喜び合った。

真新しい青々とした杉玉は新酒の初搾りが終えたことを知らせ、茶色くなることで酒の熟成を伝えるとされる。同店の杉玉は直径約80センチ、重さ約70キログラムで下呂市の職人が手掛けた。新酒は酒米のヒタホマレを使って9月下旬に仕込み、1日に

搾って酒に仕上げた。

酒蔵での神事で、渡辺久憲社長と蔵人らが良好で安全な酒造りを祈願。店先に移動し、1年間にわたって軒下につり下げられた杉玉を外し、新しい杉玉に付け替えた。

掛け替えを終えると全員で祝い唄「若松様」を唱和して新酒を振る舞い、見物客らが新酒を味わった。

渡辺社長は「原料とする米が良く、仕込み中は冷涼な日が続いて発酵も順調でおいしい酒ができた」と語った。新酒を楽しんだ同市古川町の三輪和代さんは「杉玉の掛け替えを初めて見た。新酒は爽やかな味」と笑顔で話した。(一川哲志)

